

湘南国際村の活性化に向けた検討に関する意見交換（第2回）【概要】

- 1 日 時 平成30年11月11日（日） 14:00～16:10（天気：晴れ）
- 2 場 所 湘南国際村センター 1階 ルミエール
- 3 出席者 26名
- 4 発言要旨

出席者からのご意見	県の回答（※最後のみ、横須賀市）
<p>国際交流拠点という考え方が、どの場所をポイントにおいて計画されているのか。継承されているのか。国際交流拠点とするのであれば、どの場所を目指しているのか、内々にせず本音のところを発信して内容をよくしていく、という形でお願いしたい。</p> <p>こうした資料を作る際のお願いだが、「当初の基本計画はこうだった」「一度変更して、こうなった」「さらに、こういう理由で変更したい」と堂々と問うていただいて、皆で力を出し合っていきたい。</p>	<p>基本構想で一番大きく掲げている「国際交流拠点」については、全くブレがない。そこを変える、ということは考えていない。基本構想に掲げた「国際交流拠点」については当初から引き続き変わらず取り組んでいきたい。さらに、「強化する機能」として、「国際交流拠点機能の強化」と掲げており、これからも更に力を入れていきたい。新たに国際交流の施設を作ろうということが何かあるわけではない。センターは間違いなく国際交流拠点である。</p>
<p>そもそも活性化検討委員会の目的は、なぜ、そもそも基本計画を変える必要があるのか。</p>	<p>湘南国際村は、三浦半島全体と同様、人口が減りつつあり、高齢化が進んでいるという中で、今は大丈夫でも、この先時間が経過した時に果たしてどうだろうかということ、早めに考えなければいけないのではないかと考えた。今から交流人口を増やして活性化を図っていくことができないか、ということで検討委員会を立ち上げた。委員会自体は、基本計画を改訂するために立ち上げたわけではなく、基本計画を改訂することが決まっていたわけでもない。</p> <p>そして、湘南国際村は三浦半島の中心部にあるので、周遊の拠点になり得るのではないかと、ということでそうした位置付けをする。あるいは「この地区は研修所」「この地区は福祉施設が可能」と決まっているが、それを見直して、自由度が高くなり、やれることが広がれば、新たな取組が可能になるのではないかと。なぜ地区計画にそうしたことが記載できるかということ、その上の神奈川</p>

出席者からのご意見	県の回答（※最後のみ、横須賀市）
	<p>県の基本計画があり、そこに大きなビジョン、コンセプトが掲げている。そこを見直すことによって、地区計画が見直しうる状況になる。</p>
<p>三浦半島全体を考えて、一つの案としてここを中心に活性化を図る、ということだとすると、三浦半島全体の町会議員、所管官庁など、全部で話し合っ、ここを拠点にするということなら分かるが。</p>	<p>ここで見直したものを三浦半島全体に広げていきたい、という思いもあるし、地域政策課が三浦半島の魅力を高めていくための「三浦半島魅力最大化プロジェクト」を担当している。</p>
<p>三浦半島全体の活性化としているが、そうすると計画道路を優先しないといけない。道路がないのにこんなことを言っても、通用しない。 BC地区についてはあまり触ってほしくない。地区計画を変えるように調整したようなことが書いてあるが、変更ありきで進んでいるような感じもする。特定の人から希望があって動いているとも思えるが、そのあたりはどうか。BC地区は法律的に3つの網がかかっている。やたらに触れない。この開発ができたのは、国際交流という看板があったからできたはず。基本的に触れないはず。相当な理由がなければ通らない。仮設駐車場は平らであっても、地目はBC地区の山林になっていると思う。A地区の開発区域とは別の所だと思う。特定の人のために何かするという印象を与えないように、横須賀市の協力を得て、県の力で進めてほしい。優先的に道路が書かれていないのはあり得ない。</p>	<p>強い声があるということで、道路担当にも伝えたい。 現在、仮設駐車場がどうなるか決まったものは全くない。特定の人のためにやっているように見えないように、ということはおっしゃるとおりであり、今後、仮に仮設駐車場に建物が建てられるようになった時には、これも未定だが、一般の皆様に募集して決めていくなどしかるべき手続きをとり、しっかりやっていきたい。</p>
<p>「若い世代、広い世代」とあり、「広い世代が住む街」とあるが、街としては、それがあるべき姿だと思う。親が歳をとり、施設に入るとしても、子どもが引っ越してこない。それは、交通の便が悪いから。湘南国際村を活性化するには、住民が活性化しないと駄目。</p>	<p>まずはこの湘南国際村の魅力を感じて、交流人口が増えて、人が多いのであれば商売が回るのではないか、バスの便も出そうではないかという形でつなげていきたい。 自治会長には前々回の8月の検討委員会から委員として加わっていただいた。先日10月30日の検討委員会において、自治会長からお話いただいたことが3点ある。1点目がバスのダイヤについて。単純な増発は難しいかもしれないが、時間が重複しているところを見直すだけでも相当違うのではないか。2点目が最終バスについて。最終バスの時間がもう少し遅くならないか。3点目が、海岸通りのバスは本数が多いので、そこに行くまでの間を何とかしたい。</p>

出席者からのご意見	県の回答（※最後のみ、横須賀市）
	<p>そのために、例えば自動運転などでつなぐことができないか。バスのダイヤと最終バスについては、自治会として働きかけ、要望をしていきたいということだったので、検討委員会の委員長から「県と調整して対応を検討しては」という話があった。これから自治会長と相談しながら、どのように対応していくか、詰めていきたい。</p> <p>-----</p> <p>市町と一緒に定住・移住対策の取組を進めている。息の長い話になるが、様々な施策の連携で、この地域を活性化していきたい。</p>
<p>基本計画を作るということで、住民は様々な影響を受ける。生活している人々に多大な影響が及ぶということを心してやっていただきたい。</p> <p>ここが国際交流拠点といっても、みなとみらいと競合して、あそこから国際会議をたくさん招き寄せられるかというと、無理ではないか。通研と道路がつながれば、あそこの若い研究者たちがここで安らぎの場を得られるとか、ここに住むということが可能になる。三浦半島全体というならば、それくらいの構想があってもよいのでは。</p>	<p>私どもだけで考えてできることではなく、こうした場を通じて皆様のお声を頂戴する、あるいはアンケートでは、その他欄にも皆様の強いお気持ちをいただいていると思うので、これからもしっかりと住民の皆様を念頭に置きながら、考えながら進めていきたい。</p> <p>「道路がないと難しいのでは」というお話をいただいたので、そうした声を道路部門にも伝えていきたい。</p> <p>200人を切るような国際会議の需要が伸びている。湘南国際村センターで収まるような国際会議をお互いうまくやりとりするなど、連携していきたい。</p> <p>-----</p> <p>BC地区の方針として「緑の再生と保全」を引き続き進めながら、村内にお住いの方、来村された方が憩い、安らぎ、学び、交流するということも併せて取り組んでいきたい。県、横須賀市、葉山町の様々な政策と連携して進めていくという大きな方針があるので、そうした中で何ができるか、考えていきたい。</p>
<p>そもそも活性化が必要だと県で思った理由は何か。湘南国際村の活性化が住民のことを考えてのことではなかったのは明らかだ。なぜ今、この時点で湘南国際村の活性化が必要だと思ったのかをもう一度ご説明いただきたい。</p> <p>これから新たな商業施設、医療施設を建築するとなってもどこに建てられる</p>	<p>人口が三浦半島全体でも少なくなってきたおり、それが湘南国際村でも当てはまっている。高齢化についても同様。来村者数についても少なくなってきたところで、今のうちから何とかしていけないか。その方法として湘南国際村の魅力を上向きさせて、交流人口を増やすことによって経済が回るようにでき</p>

出席者からのご意見	県の回答（※最後のみ、横須賀市）
<p>のか。</p> <p>来村者数のグラフの解析が大事だと思う。リーマンショックの後にガタッと来村者数が減っているが、企業の研修センターの利用者や研究所に仕事として海外や国内から来られた数が入っているのか、それとも純粋な観光客だけの数なのか。結局この湘南国際村センターをうまく使っていくことが大事だと思うが、現在、このホテルの稼働率や会議場の稼働率はだいたいどれくらいか。</p>	<p>ないか。</p> <p>建物ありきで考えているわけでもない。BC地区であれば、自然環境を生かしながら、何かできないかと考えている。センターの利活用をできないかと常に考えているので、そこも含めて検討を進めていきたい。</p> <p>来村者数の内訳については、湘南国際村に来られた方をどうやってカウントするのは、正直難しい話。各施設を持っている企業に調査しており、その施設を利用した人数を聞いている。そうした人数が少なくなってきた。</p> <p>-----</p> <p>湘南国際村センターの稼働率の話があったが、平成25年度から29年度の5年間の平均では、約6割だった。全国の旅館、ホテルをざっくりと計算した統計があり、全体の平均が約58%。</p>
<p>交流人口を増やしたいという中で、駐車場機能は重要である。あそこを駐車場でなくしても、他に代替があればよいが、高台にないと、子安に作っても利用されないと思うので、その確保をお願いしたい。</p> <p>不動産会社の持っている土地もどうなるのか。有効に使ってほしい。</p>	<p>駐車場を何もしないにしまうのは難しいだろうと思うので、今のご意見を重く受け止めさせていただきたい。その台数をそのまま維持とはいかないかもしれないが、仮に拠点ということにするなら、なおさら駐車場は重要だということを考えなければならない。</p> <p>空いている土地があれば、せつかくの土地なので、有効に使われていくことは重要であり、そうしたことも踏まえて議論を進めていきたい。</p>
<p>湘南国際村全体で何が問題なのか、整理する必要がある。</p> <p>なぜ個人の観光客が少ないのか。鎌倉と比較してどうなのかなど、議論する必要はある。</p> <p>中核施設である湘南国際村センターが破綻状態。前回も私は外部の先生方の検討会を傍聴したが、全くこの辺には触れていない。こういう問題がなぜ起きたか、もう少し真剣に考えないといけない。ほとんど施設が空いている。これはなぜなのか。もっと原因を追究すべき。</p> <p>かながわ学術研究交流財団が、この湘南国際村のコンセプトの本丸だ。これ</p>	<p>検討委員会の議論の中でも、住民の皆様が何を課題だと考えているか、そこをしっかりと把握しなければいけない。課題を整理しなければいけないというお話をいただいてきた。見える形で基本計画の中に入れられないか、ということで検討をしているところ。</p> <p>検討委員会は、湘南国際村協会という第三セクターをどうするか、議論することではなく、村全体をどうしていくかを議論していく場であるため、直接的には村協会の経営的な部分は対象としていない。ただ、湘南国際村センターをしっかりと有効活用すべきだ、センターの役割は何なのかという点につい</p>

出席者からのご意見	県の回答（※最後のみ、横須賀市）
<p>が解散している。40%施設を買い取っている。それで数年後に解散している。かながわ国際交流財団が入っている。慢性的な赤字状態。なぜなのかと問題の本質をとらえないと、いくら新しい機能を追加しても駄目。湘南国際村センターの組織もそう。第三セクターの組織がある。ここもおかしい。</p> <p>湘南国際村センター管理組合という変なものができる。この業務分担もどうなっているかわからない。この施設は問題がたくさんある。まず、活性化の第一にやらなくてはいけないことは、この湘南国際村センターの抜本的な改革だ。これが何で出てこないのか。</p> <p>研究施設は、過去に2団体が撤退している。やはり原因をもっとヒアリングして、ここに書かなければならない。今後もおそらく、研修センターで撤退するところが出てくる。もしそうなった場合に、どうやっていくか対応を考えなければならぬ。</p> <p>公益法人の総合研究大学院大学、地球環境戦略研究機関の2つ。人数で評価できないが、実際に何をしているか、評価しないとイケない。</p> <p>湘南国際村の来村者数が少ない。研修で来たのか、仕事に携わってきたのか、ホテルの宿泊なのか、村の住民なのか、湘南国際村センターに来たのか。それを個々にとらえて議論しなければならない。</p> <p>わが国というのは、国の借金が相当多くなっている。ここは公益法人の施設がたくさんある。これの影響を受ける。</p>	<p>ては、私どもとしても、センターをどうしていくのか、しっかり議論しなければならないと考えている。</p> <p>湘南国際村に来た理由、施設が撤退したらどうなっていくのか、といった点についても見据えて考えていかなければならない。</p> <p>-----</p> <p>かながわ学術研究交流財団は、平成19年度に、当時の神奈川県国際交流協会と統合した。これは、いわゆる行政改革の「第三セクターを整理すべき」との流れの中で統合したもの。その結果、K-FACEと言われていた財団は、法人としては解散し、現在、かながわ国際交流財団として、湘南国際村に関するK-FACEが持っていた基本財産の一部を引き継ぎ湘南国際村で事業を行うための基金を積み立てた上で事業を行っている。</p> <p>センターという建物をどのように機能させていくのがよいのかについては、大きな課題だと考えている。そのために必要になってくるのが、土地利用を定めている基本計画、地区計画に盛り込まれた機能、今は「研修所」と機能が絞り込まれているが、何らかその部分について考えられないだろうかということ、検討しているところ。</p>
<p>非常に岩盤が強いということで、避難場所として、ヘリポートとして、防災の拠点になるという、一つの大きな価値を付けて計画を進めてもらえれば。</p>	<p>皆様からこういう声がいくつもあがるということは、着眼点として非常に大きなものなのだと思います。こうしたご意見も踏まえて、今後の活性化の議論の中でも考えていきたい。</p>
<p>自由度を高めたりすることで、規制を外して人さえ入ってくればよいという発想だと、東京と同じになると思う。今はモビリティがあり、ここを取り囲むところにサークル状に拠点となるEVの駐車場が設けられていて、そこから皆</p>	<p>人が増えると、どうしても両面、功罪がある。人が増えさえすればよい、ということではない。規制は難しいのかもしれないが、「むやみに立ち入るのはご遠慮ください」というご案内をするなど、気を付けてまちづくりをしていく</p>

出席者からのご意見	県の回答（※最後のみ、横須賀市）
<p>の乗り合いの形でどんどんここへ入ってくる形をとらないと。鎌倉のパークアンドライドに学んでブラッシュアップしていくとか、そうしたことが絶対必要だと思うので、そういうことを怠らないように動いていただきたい。</p> <p>神奈川県では最近「未病」をクローズアップしているようだが、この辺には福祉施設もたくさんできている。そうした所との緩やかな連携、充実した健康的な緑陰滞在型との共通点のある取組だと思うので、活性化の材料として役に立つのではないか。</p> <p>ただ単にここに人を呼び込めればよいという下手な開発をすると、当初のコンセプトがぐちゃぐちゃになってしまう。そういうことは避けるために、質の高い人気、ここだけは絶対に崩さないで、この先進めていただきたい。</p>	<p>必要がある。自治会長が検討委員会の委員になっていただき、自動運転の話もいただいた。例えばそうしたものの実験をしてはどうか、ということも考えられるところだと思うので、他の事例を参考にしながら進めてほしいというご意見も踏まえて、検討を進めていきたい。</p> <p>未病の話もいただいた。緩やかな連携、質の高い活性化を念頭に置いて検討を進めていきたい。</p>
<p>ここで出た意見は、検討委員会に上げていただきたい。どこでも通用するような意見が出てくる可能性がある。湘南国際村に役立つ検討にしていきたい。道路の話をお願いしたが、道路部門と相談するのではなく、検討委員会に上げて、その答えを持って道路部門と交渉、折衝して、早く作ってほしいという地元の声を伝えていただきたい。そのくらのことをしないと、文章に載ってこない。載ってこないから、いつまで経っても進まない。</p> <p>BC地区は山林だから、仮設駐車場は地区計画の変更で生きてくる、というのは考えられない。自治会長が出ている、ということであまり文句も言えないけれども、そうであれば自治会の中で検討委員会を立ち上げて検討しないといけない。それを許したら、何にもなくなってしまう。平らな土地だから利用できるといっても、風致地区と近郊緑地と、もう一つ網が被っているから、簡単に触れない。希望があるから簡単にいじって建物が建てられるようにするのは、どうかと思うが、自治会がよいというなら私もよいと思う。地区計画を変更する時は、ぜひ自治会に相談してほしい。横須賀市のためにもなる。よい悪いでなく、やはり答えは出さなければいけないので。</p>	<p>アンケートだが、この資料と同じものを検討委員会に資料として出している。6月の意見交換も資料にして伝えている。次回は11月20日に検討委員会があるので、本日のご意見をしっかり伝えるようにしたい。</p> <p>BC地区は風致地区等の制限がある場所なので、問題がないかどうか点検しながら進めていきたい。自治会の皆様にもご相談してこの先も議論を進めていきたい。</p>

出席者からのご意見	県の回答（※最後のみ、横須賀市）
	<p><横須賀市の発言></p> <p>地区計画の改定については、当然、皆様方に説明会をさせていただくとともに、住民の皆様の合意がなければできないので、もしBC地区にある仮設駐車場を何かするという事になれば、それはきちんと説明させていただいて、合意の上で実施をさせていただく。</p> <p>横須賀市は人口減少、ここだけではなく市全体が人口減少している状況で、「東京が遠い」という状況がある。「東京が遠いから横須賀は駄目なのか」ではなく、横須賀のよいところ、よい環境であるところをPRしていくことで、人口の減少に歯止めをかけたい。湘南国際村はまさに一番よい環境の住居であって、交通だけではない部分のよさをいかにアピールしていくか考えている。</p> <p>バスの問題などがあることは、重々承知している。市の土木部だけではなく、政策推進部も一緒になって、今回住民の皆様からご意見をいただいたが、県と一緒になって、民間の交通機関ではあるが、京浜急行にできる限り可能な提案をできるように進めていきたい。</p> <p>三浦半島中央道路の話だが、ぜひ横須賀市もお願いしたいと思っているので、皆様方と一緒に実現に向けて前に進めていきたい。</p> <p>研修施設が中心となっているこの地区だが、研修だけではなかなか立ち行かないのではないか、と我々も思っている。今後、研修施設が立ち退いてしまった後に何もない状態でよいのか、という面もあるので、今回の基本計画の改訂に合わせて、ぜひ地区計画も、活性化ができるような地区計画の改定を一緒に考えていけたらと考えている。</p> <p>災害に強い街ということで、津波にも強く水源も近くにある。あとは電気があれば、非常に災害に強い街ではないかと改めて実感をしたところ。そういった面からも湘南国際村のアピールができればと考えている。</p>